令和７年度　県政モニターアンケート調査

テーマ：こどもの体験活動について

福岡県人づくり・県民生活部　青少年育成課

1　調査の目的

福岡県では、「次代を担う『人財』の育成」を県政推進の柱に掲げ、こどもたちが社会性や豊かな心をはぐくむために、多様な体験活動を通して自らの可能性に気づき、自らの内にある無限の力を信じて、それぞれの夢に向かってチャレンジすることができるよう、体験活動の推進に取り組んでいます。一方で、少子化や核家族化、地域の人間関係の希薄化等により、地域での体験活動の機会の減少や地域格差が指摘されています。

こうしたことから、今回こどもの体験活動に関する認識、要望等について多角的な意見を収集し、今後のこどもの体験活動推進に資する基礎情報とさせていただきます。

なお、本調査における「こども」とは、中学３年生までを指します。

2　調査時期

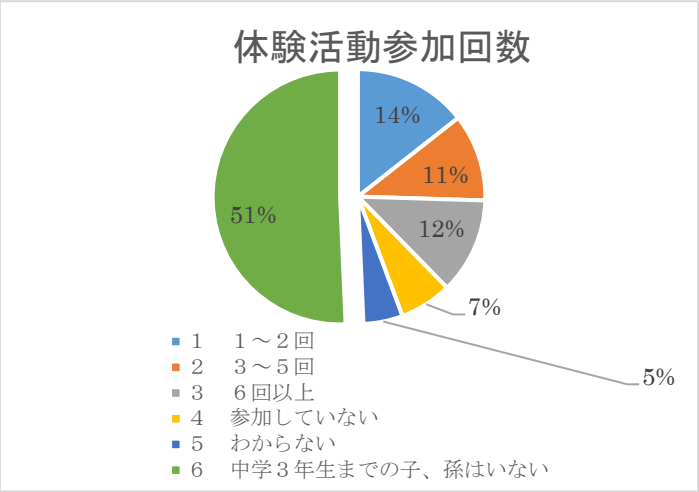
令和７年１０月１０日～令和７年１１月３日（第４回）

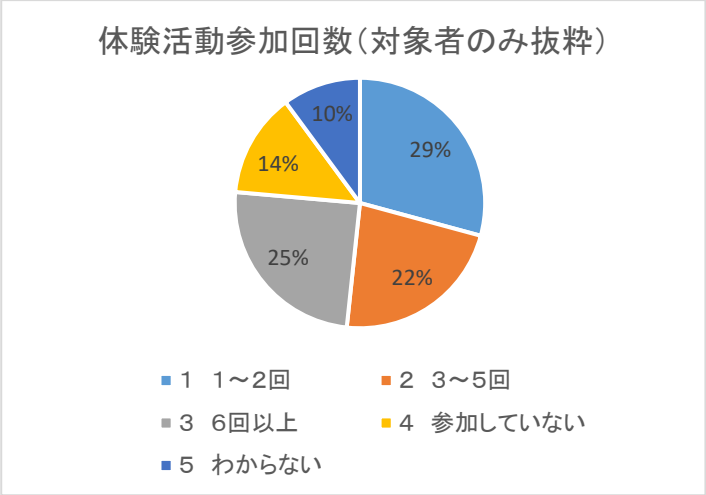
3　回答者の構成

		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数	構成比				
総数	人数	361		95 人	187 人	51 人	28 人
	構成比		100%	26.3%	51.8%	14.1%	7.8%
性別	男性	172	47.6%	44 人	87 人	26 人	15 人
	女性	186	51.5%	49 人	100 人	24 人	13 人
	その他	3	0.8%	2 人	0 人	1 人	0 人
年代別	20 代以下	51	14.1%	13 人	27 人	7 人	4 人
	30 代	59	16.3%	17 人	30 人	7 人	5 人
	40 代	76	21.1%	19 人	40 人	11 人	6 人
	50 代	62	17.2%	17 人	32 人	9 人	4 人
	60 代	76	21.1%	21 人	34 人	13 人	8 人
	70 代以上	37	10.2%	8 人	24 人	4 人	1 人

４　回答結果

問１　お子様又はお孫様等は、過去１年間（昨年１０月から今年の９月まで）に、上記のような体験活動にどのくらい参加しましたか。次の中から最も当てはまるものを【１つだけ】選んでください。





回答者数：３６１人

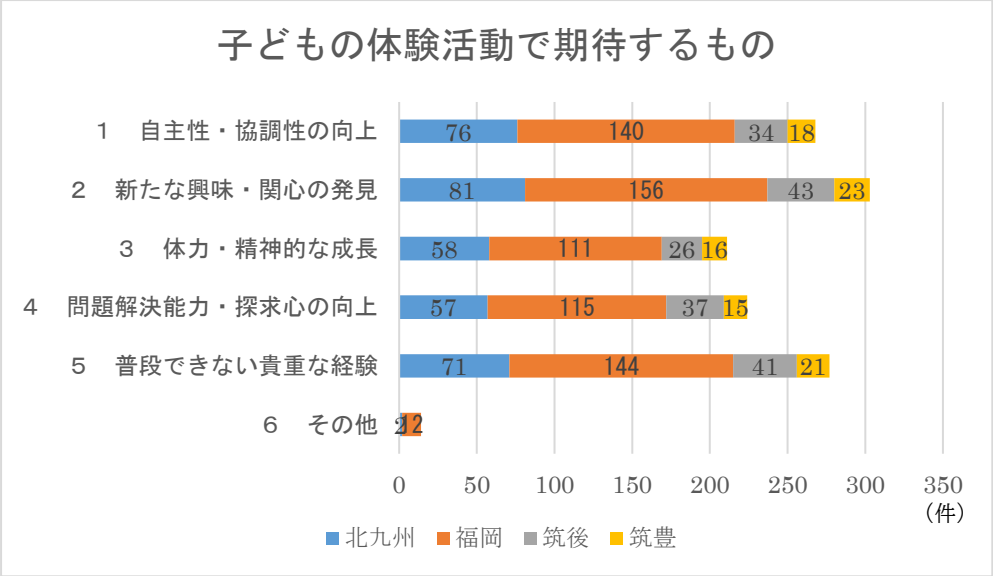
	人数	割合
1　1～2回	52	14.4%
2　3～5回	40	11.1%
3　6回以上	43	11.9%
4　参加していない	24	6.6%
5　わからない	18	5.0%
6　中学3年生までの子、孫はいない	184	51.0%

（参考：地区別内訳）

	北九州	福岡	筑後	筑豊	総計
1　1～2回	11	24	11	6	52
2　3～5回	12	15	8	5	40
3　6回以上	15	21	5	2	43
4　参加していない	6	12	4	2	24
5　わからない	5	11	1	1	18
6　中学3年生までの子、孫はいない	46	104	22	12	184
総計	95	187	51	28	361

・約半数が「中学３年生までの子、孫はいない」と回答している。
・参加回数では１～２回の割合が一番多い。

問２　こどもの体験活動にどのような効果を期待しますか。次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。



（回答者数 361 人　回答件数 1,297 件　複数回答可）

	北九州	福岡	筑後	筑豊	総計
１　自主性・協調性の向上（自分で考え行動する力や友達と協力する力をつけてほしい）	76	140	34	18	268
２　新たな興味・関心の発見（多様な経験を通じて、自分の得意なことや好きなことを見つけてほしい）	81	156	43	23	303
３　体力・精神的な成長（体を動かす楽しさを知り、心身ともにたくましく育ってほしい）	58	111	26	16	211
４　問題解決能力・探求心の向上（困難な状況で工夫する力や自然・社会への関心を深めてほしい）	57	115	37	15	224
５　普段できない貴重な経験（学校では得られない非日常的な体験や思い出を作ってほしい）	71	144	41	21	277
６　その他	2	12			14

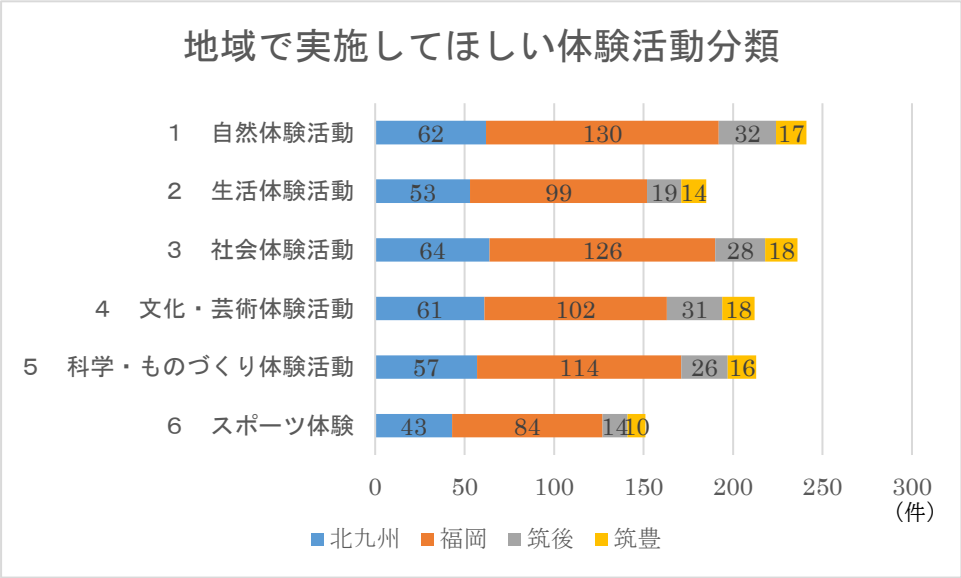
２－６　その他の意見

４０代	北九州	将来生き生き活躍し収入を得られる仕事の選択、見学。
６０代	北九州	任されたこと、依頼されたことに対する責任感を育てる。
３０代	福岡	色々な体験をさせて色々なことを教えたい（好きなことを見つけて欲しい）
３０代	福岡	物事の上辺だけでなく、中身まできちんと理解するためのきっかけになって欲しい。
３０代	福岡	地域の様々な年代の方々と関わり、後々自身が体験活動を提供する側の立場になった時に、繰り返し次世代へ与える喜びを得てほしい
３０代	福岡	幼少期の思い出として沢山楽しんで笑って、沢山友達をつくってほしい。
４０代	福岡	こどもの体験活動は、知識よりも「心の動き」や「親子のつながり」を育ててくれる大切な機会だと感じます。5 歳・2 歳の息子と過ごす中で、小さな「できた」が自信につながる瞬間を何度も見てきました。親子で一緒に参加できる自然体験や地域の行事をもっと増やし、家庭と地域が一緒にこどもを育てる場が広がると嬉しいです。
４０代	福岡	こういった地域の体験活動を通じて地元の事を知るきっかけにもなっています。

４０代	福岡	地域の人たちとの関わり、繋がりを作る
５０代	福岡	自分の周りだけの世界と違う世界を見たり体験したりすることで、視野が広がることを期待する。
５０代	福岡	福岡の歴史などを知って、食べ物だけじゃない、愛着を感じ、将来遠くに住んでも福岡を好きでいてほしい。
６０代	福岡	コミュニケーション力の向上、現実世界とゲームや SNS など仮想世界との違いの認識、正義やモラルの重要性の認識
６０代	福岡	美術館、博物館等で、本物の持つ力を感じて欲しい。
６０代	福岡	誰もが自分と同じ人間ではないと言う事を早い時期からも考えて欲しいと思います。その為に引率される方を増やしたりして、子供達をよく見てほしいと思います。大学生等の若い人材にも体験して欲しいと思います。

・選択肢では、体験を通じて自分の好きなことや興味のあることを見つけるきっかけを望んでいる声が多い。
・その他の回答では、自分の周り以外の多様な価値観と触れることや地域との関わりを望む声があった。

問３　上記のこどもの体験活動の中から、お住まいの地域で実施してほしいと思うものはありますか。次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

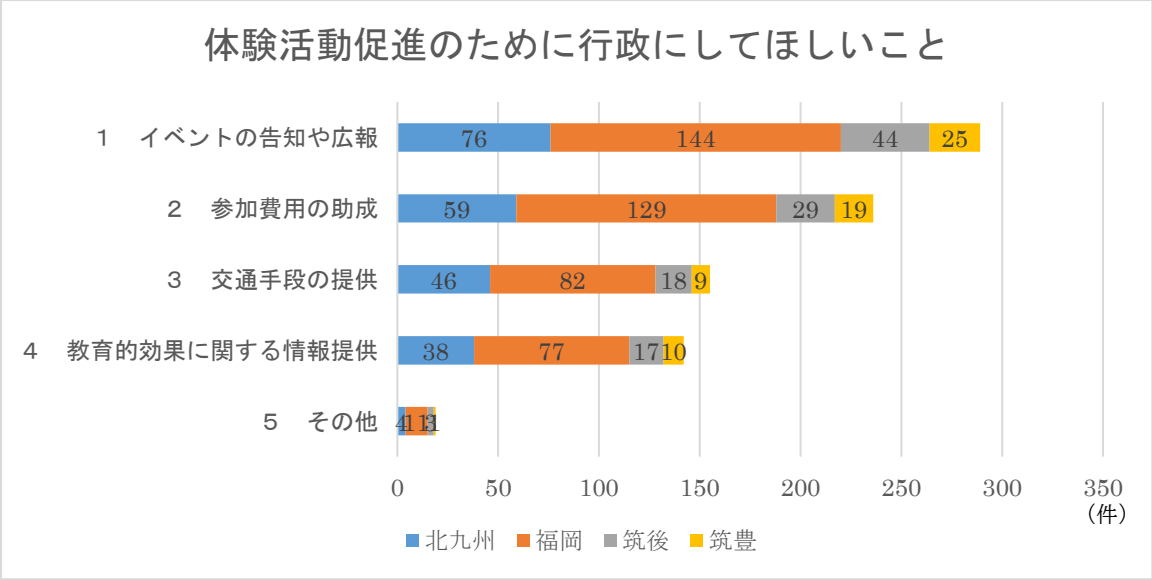


（回答者数 361 人　回答件数 1,238 件　複数回答可）

	北九州	福岡	筑後	筑豊	総計
1　自然体験活動	62	130	32	17	241
2　生活体験活動（地域・生活関連）	53	99	19	14	185
3　社会体験活動（キャリア・職業関連）	64	126	28	18	236
4　文化・芸術体験活動	61	102	31	18	212
5　科学・ものづくり体験活動	57	114	26	16	213
6　スポーツ体験	43	84	14	10	151

・自然体験活動・社会体験活動の２つの実施希望が高い。
・スポーツ体験は比較的低い結果となった。

問４　こどもの体験活動の参加を促進するために、県や市町村はどのような取組を行うとよいと思いますか。次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。



（回答者数 361 人　回答件数 841 件　複数回答可）

	北九州	福岡	筑後	筑豊	総数
1　イベントの告知や広報	76	144	44	25	289
2　参加費用の助成	59	129	29	19	236
3　交通手段の提供	46	82	18	9	155
4　教育的効果に関する情報提供	38	77	17	10	142
5　その他	4	11	3	1	19

その他の意見

20代	北九州	親にも体験活動を推進するように薦める。さまざまな事業者に対して、子供割引を推進するように取り組む。
40代	北九州	出来る物は出前教室で、公共施設を回ると利用しやすいと思います。その場の会場に行くのも感動的ですが、親が来るので親とよく行き方を協議した方が親も納得しやすいと思います。
50代	北九州	親や保護者に対してではなく、学校などで子供たち自身に対しての告知や広報
50代	北九州	福祉体験、福祉ラボみたいな福岡県社会福祉協議会と共同で福祉に興味を持たせ、ユマニチュードなど小学生に行なっていますが、積極的に年 2 回くらいは、博多で小中学生対象にして欲しい
60代	北九州	担当者（企画、運営、支援）の派遣、または養成。
30代	福岡	イベントのイメージができる動画の提供、昨年度の同一のイベントの様子などの動画
30代	福岡	SNS をつかっての広告や SNS での呼びかけ（協力してくれる方の）
30代	福岡	兵庫県知事のように、県民のための政策を進め県民から支持されるトップであれば「県知事が推進しているイベント」や「県知事に会いたいから」という県知事が広報的存在になれば参加させたいと思う親や祖父母は増えると思います。
40代	福岡	開催回数が多めにあると助かります。

40代	福岡	体験活動の情報を親が探さなくても届く仕組みがあると助かります。保育園や小学校、LINE などで地域のイベント情報をまとめて配信してもらえると参加しやすいです。仕事や育児の合間でも参加できる、短時間・少人数の親子向け体験を増やしてほしいです。
40代	福岡	科学館がある地域が限られているので、ない地域では定期的に出張イベントを開催してほしい。
40代	福岡	地域で体験活動を行っている(主催者など)方々への、企画や講師の紹介などをしてほしい
50代	福岡	直接学校に赴いて活動を行う。例えば、学校の体育館で演劇を上演するなど。
50代	福岡	公民館の活用
60代	福岡	講師や指導者となってくれる人材の呼び込み、育成
40代	筑後	学校への出張、出前講座など
40代	筑後	地域にいる人や福祉施設、企業とコラボすること、将来の職業や人手不足、後継者不足にもつなげることができるではないかと思う
50代	筑後	親としては参加して多くの経験をして欲しいと思っているが、当の本人が関心を示してくれない。学校でチラシをもらっても、積極的なお子さんだけが参加しているのではないか。学校でもそういう子にこそ声をかけて欲しい
40代	筑豊	格差是正・公平を図るためには、ある程度の強制力がないと参加できないと思う。なぜならば、こどもは親の意思や同意がないと参加できないから。参加したくてもできない家庭がどうすれば参加できるのかを支援することが必要だと思う。

・選択肢では、イベントの告知や広告を求める声が多かった。
・その他の回答では、学校や地域等に対して広報し、保護者に届くことを望む声や、地域格差を是正するための取組についての意見があった。

問５　こどもの体験活動について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

20 代	北九州	直接体験の大切さは自身でも感じています。(百聞は一見にしかず) 子に経験させたいと思った時、やはり情報を取り切れず見つけられないものもあったり(そもそも探すリソースがわからないものもあったり)費用が想像以上で断念、ということもあったりで、情報を発信しているサイトがわかりやすくまとめられていたり、助成があると助かるなと感じています。
20 代	北九州	私は現在 20 歳で、2011 年-2017 年に小学生、2017 年-2020 年まで中学生でした。当時から、愛情や安心感が不足しているこどもや、将来働くことに対して不安を抱くこどもが多く見られました。インターネットの影響や家庭環境の変化が背景にあると感じます。 こうしたこどもたちに向けて、体験活動を通じて「働くことの楽しさ」や「自分は地域や社会に支えられている存在であること」を実感できる機会を増やすことが大切だと思います。特に、地元企業や地域の大人との協働を通じて、現実の温かさに触れられるような取り組みが望ましいと考えます。
30 代	北九州	SNS や主要な駅や繁華街など人が集まる場所、学校などを通じて積極的に宣伝・発信して欲しい。
30 代	北九州	乳児から楽しめるものが少ない

30 代	北九州	どうしても体験活動が土日に行われることが多く、土曜日も仕事があるため気になる活動があっても保護者同伴の活動に参加できない。 低学年でもその子より上のきょうだいが参加する場合は保護者同伴なしでも参加できるようになれば嬉しい。
30 代	北九州	SNS、県・市政だより、保育園・幼稚園・学校などを介したチラシなど、いろんな方法で告知があれば、どれかひとつは目に留まる機会が増えるのではないかと思います。楽しそうなイベントでも、知った頃には終わっていた…日程が近く予約ができなかった…他の予定を入れてしまった…ということがよくあります。
30 代	北九州	体験活動を通じて、将来どういったことに繋がるかという具体的な「目標」を提示してあげるのがいいと思います。 なぜなら、子供の体験活動の参加可否を担っているのは保護者だからです。 保護者はどういったことが将来に影響するかを知らないと、子供の体験活動を参加させないと思うからです。 ですので、保護者向けに体験活動の目標を提示することが大切だと思います。
30 代	北九州	自分自身が親にしてもらったように、子供には学校ではできない経験もさせてあげたいという気持ちが強く、現在加入している町内会で様々なイベント企画・開催をしています。 例えば、お祭りやマルシェで商品の売買で社会経験をさせたり、年始は餅つきで日本の歴史的な行事を学んでもらったりなど、これから検討していく企画もありますがそのような経験は今どき貴重なものだと考えています。 他の地域でも全てを行政に任せっきりにするのではなく地域住民単位でも活動してくことも大事なことだと思っているので、そこに助成金を出すなど検討していただきたいです。 特に、長寿支援課からは敬老会などに助成金が出ているのであれば、こどもの体験活動に対する助成金も検討されるべきなのではないかと思います。 考えが偏っているかもしれませんが、子供は国の宝だと思っているので幼少期にたくさんの体験をさせてあげるのも大人の役割だと思います。
30 代	北九州	駄文ながらご回答致します。 こどもの体験活動についてですが今のこども達が置かれている立場を鑑みますと色々なルールに縛られこども本来のあるがままの自分を肯定することなく大人になってしまった場合周りのきちんとこども時代を経験してきた大人との関係性で戸惑ったり混乱したりすることがあると自身の経験からですが感じております。ルールを守ることの本当の意味を大人も再考し今この子達に必要な体験を周りの様々なコミュニティに所属している者同士が対話を通じて試行錯誤していくこれに尽きるのではないでしょうか？
40 代	北九州	親や先祖の仕事も向いているでしょうが、可能性を広げるために色々と求職体験をさせてあげたいです。
40 代	北九州	1 人親で子供だけ参加したい場合に交通手段の確保等が問題になりがちです。子供が 1 人でも参加しやすい様な交通の便が良い場所で行っていただきたいです。
40 代	北九州	大人が行かせたくても子供が行きたがらないことが多く困っている。
40 代	北九州	工場見学以外にも大企業のオフィス見学や議会見学・伝統技能見学などが増えるとありがたいです。
40 代	北九州	保護者の多忙化により親と子の時間が縮小する中、親子のコミュニケーションが希薄になり、また親から子へ伝えられるもの、その過程で学び取れるものがかなり少なくなっていると思います。社会として子供達に何を教えるかも工夫が必要ですが、どうやったら親子の時間や各家族の伝統・細かく言えばその家庭の味まで伝え取り戻せるか。そこを考えていく必要があるところまできていると思っています。

40 代	北九州	子育て世代向けに広報をしてほしい。 テレビは見ないのでネットや SNS をもっと活用して
40 代	北九州	子供の将来の目標になるものや、夢を見つけてもらえる体験をしてほしい。
40 代	北九州	進路選択になるような、職業体験があれば嬉しいです。警察や消防士などではなくて、あまり知られていない想像できない職業が良いです。
40 代	北九州	インターネットを使用しない、利用できない環境を最低でも 1 週間は体験させるべき(毎年) そこから見える景色を再発見させることが重要
40 代	北九州	子供には手厚い支援が必要
50 代	北九州	こどもの頃に色々な体験をさせたら、将来の人間性に関わってくると思うので必要、
50 代	北九州	いろいろな体験ができるというのは、こどもにとって、とても有意義なものだと考えられる。一方で、たくさんの体験活動に参加しづらい児童・生徒たちがいるのも見逃すことができない。多くの体験が県・市など中心地に多いようで、遠方の場合、あきらめざるを得ない場合もあるように思う。そのようなことを考えると、学校教育の中で、体験ができればと思うことがあります。ただし、教員の働き方改革が先行していて、企画等が縮小していることもあるのではと考えると、軽々に組み込んでくださいと言えない。 同行できる家族がいなくても体験に参加できやすいようになるといいのにと思うことがあります。
50 代	北九州	現在、こどもたちに対してどのような体験活動が提供されどれ位のこどもが参加しているかわかりませんが、ぜひ子供たちが自身の将来を考えるプログラムを考えていただき、参加を促すようにして欲しい. 出来ればプログラム参加中はスマホ、ゲームなど禁止にしてプログラムを真剣に体験してもらうとともに参加者どうしのコミュニケーションを深めてもらうなどして貰うとより良いと思います.
50 代	北九州	AI 等がもてはやされている中で、中にはおかしな論理や間違った結果などが混在していて、便利な反面、何が正しいのか判断する能力のレベルが一段高いものをも取られるようになった用に感じる。 色々な人と知り合うことや体験を通じて、AI 云々とは別の自分自身が知り得る世の中の空気感というか、そういう形になっていないふんわりしたものを学べたら良いと思う。
50 代	北九州	当日は給食がなくて、弁当を作る手間はありますが、それもひとつの楽しみかと思って作っています。 教室では学べないことを学ぶのは、とてもいいことだと思います
50 代	北九州	参加前から(申し込みの時点から)子供たち自身に行動させるようなものが好ましいと思います。 全てを大人が準備した上での参加(嫌な言い方になりますが、全てをお膳立てした上での参加)は、深い意味での「体験」といえるのかと疑問です。
60 代	北九州	学校で行う遠足や社会科見学を、もっと充実してほしい。理由は、子供の体験活動を親や家庭に任せてしまうと、活動の機会が得られない子供も出てくるから。
60 代	北九州	地域での体験活動では場合によって町内会に加入していない世帯は参加できないことがある。 同じ学校に通う仲間でありながら体験格差が生まれていることの是非を検討してもらいたい。
60 代	北九州	とっても良い施策だと思います。 余り理解していませんでした。猛省します。

60 代	北九州	こどもには体験が大切である。場所、設備、人材、資金を国家が潤沢に準備すべきである。日本を支える次世代を大事に育てることは急務である。
60 代	北九州	何をいつどこで開催されているのかを知る機会がほとんどない。イベントの開催に関してもっとアピールしてほしい。
60 代	北九州	イベントの告知や広報をしても、親に関心がないと、無意味。また、応募方法が煩雑だと、なかなか応募までには至らないと思う。 学校からイベントに参加するなどしてくれたら、公平感を持って体験できると思う。
60 代	北九州	どの時間帯でやるのかがよく分からないが、土日、長期休暇中などであれば、行政が主となって取り組むので学校は関わらなくても良いと思うが、学校と連携してやるのであれば教員に新たな負担がかからないようにしてほしい。活動の趣旨は賛同できるが、どこが主体として実施するのかをはっきりさせて欲しい。
60 代	北九州	こどもの体験活動に熱心な親御さんとそうでない(経済的にも時間的にも余裕のない)親御さんとの格差が大きいと思うので、そういうこども達にも参加する機会を増やすため、地域のこども会や学校単位で引率するなど、たくさんのこどもに体験のチャンスを増やす工夫をしてほしい。
60 代	北九州	高齢者も多く認知症の方もふえてくるので、認知症の方への接し方や声のかけ方等子供の時から学んでおくことも必要では無いか？と思います。
60 代	北九州	市政便りなどに枠を作って、申し込みしやすいようにお願いしたいです。
60 代	北九州	行政主体でやるにせよ、民間ボランティア主体でやるにせよ、やる気と熱量を持った人が、引っ張っていかないと、掛け声だけで、尻すぼみになってしまう危惧があります。
60 代	北九州	こどもの体験活動の参加を促進するためには、もっと SNS に告知や広報をしてほしい。
70 代以上	北九州	県市町村からの取り組みにとどまらず、企業からの仕事体験等受け入れをもっと積極的にやってもらえればいかがなものかと考えます。県市町村は地元企業に対し、こうした取り組みの申し出を積極的にやってみてはどうでしょうか。
70 代以上	北九州	以前は各町内会に子供会があり地域の祭りやスポーツなどの行事があったが現在でもそういった活動をしているところはどれくらいあるのだろうか
70 代以上	北九州	こどもや孫は遠方に住んでいるため詳細を把握していません。近所の総合グランドに散歩で良く出かけるのですが、土曜日などに子供の姿を見かけることが少なく、どこにいるのか気になります。 農家で稲刈り体験や、近所の工場見学など子供達には贅沢な学習の場が提供されています。体験談などをもう少し公表すれば他の子供達にも刺激になります。学校では体験発表会など企画されているのでしょうか。
20 代以下	福岡	海外での文化交流や体験活動等も取り入れたら良いのではないでしょうか。
20 代	福岡	どんな家庭のお子さんでも、平等にいろいろな活動に参加できる機会を増やしてほしいと思います。
20 代	福岡	今までの体験活動により、どのような効果があったのか、情報分析や改善等はされているのでしょうか。体験して終わりになっているのではないかと、やや疑問です。こどもに体験活動のまとめを行わせる、とかではなくて、市区町村のレベルでの調査はされているのでしょうか。
20 代	福岡	特に文化体験は家庭の経済により格差が生まれやすいので、なるべく多くの子供が小さいうちにいろいろな文化に触れる機会を作ってもらいたいです

20 代	福岡	告知や広告を大々的にすると良い。 子供の体験学習ができるイベントをまとめた広報誌又はアプリで地域ごとにその月の体験学習ができるものをまとめていて、予約できるシステムがあるとわかりやすく意欲が湧く。 Instagram などの告知でも情報収集がしやすい
30 代	福岡	幼保園や小中学校への助成を拡充することで、これらの活動をより効率的かつ公平に実施できるのではないでしょうか。たとえば、学校の休校日などに地域の老人会の方々に昔の遊びを教えてもらったり、大学生や学芸員を招いたりしての体験教室を実施することも可能です。 こうした活動を外部事業者に直接委託すると、児童の参加人数に制限が出る上、運営経費がかさみ、持続性にも課題が生じます。学校現場を通じた実施であれば、既存の環境や人材を活かし、より多くのこどもたちに機会を提供できます。 また、たとえば「走り方教室」「警察を招いた交通安全教室」「消防を招いた応急救護教室」のような、楽しみながら身体づくりができる活動も非常に有益です。こうした取り組みを、学校支援という形で普及・充実させていくことが、コスト効率と公平性の両立に繋がると考えます。
30 代	福岡	こどもの体験活動は基本的には各家庭が自分たちで地域のお祭りに参加したり、ボランティア活動をしたり、料理やお菓子作り、昔ながらのこま回しや竹馬、けん玉などの遊びをしたり、美術館や博物館巡りする。企業の工場見学イベントのようなものに参加する。科学館の科学に関するイベントに参加する。ということだと考え、行政が参加を促すことではないと思います。するもしないもあくまで各家庭、各こどもの判断だと思います。 行政がこどもの体験活動に関わる必要があるとするならば養護施設に在籍するなど特定の状況下にあるこどもたちだと考えます。そういったこどもたちに対してはどんどん積極的に体験活動に行政が参加を支援すべきことだと思います。
30 代	福岡	広報誌などをみていると小学 3、4 年生以上が対象のものが多く、それ以下の年齢が参加できないものが多いです。また、自然体験のようなものだと現地集合は参加に対してのハードルが高いので交通手段を確保してもらえると参加しやすいかと思います。
30 代	福岡	イベントの配信サービスがあると良い
30 代	福岡	色々な体験させてきて思うことは子供も喜ぶし、いい経験だと思います。 費用の面ではないのが理想ですが、格安もしくは、高額でなければ参加させてあげたいと思います。高校生や大学生(若い世代の方)の方々ともっと触れ合えると子供達も嬉しいです。
30 代	福岡	日本人限定にしてほしい。 外国人が増え、そういうイベントに行くにも安全面はどうなんだと危惧して怖くて行かせたくないと考える。
30 代	福岡	経済格差が機会格差につながらないよう、特に生活困窮世帯への機会提供を充実させてほしい
30 代	福岡	体験活動は学校での経験を基に余暇で家族との体験や経験を行うし、逆もありうる。 授業で現地研修やモノづくりの時間の際は、多くの時間を割くなどじっくり体験に向き合う時間を作るべきである。体験に基づいた疑問が学習や学ぶ目的の期待に繋がると思う。
30 代	福岡	日本、または福岡に生まれたことを誇りに思ってもらうような体験に期待します。最先端の科学を使ったものや、AI など将来に期待をもてる活動がいいと思います。また、スタッフはこどもにも親しみやすい若い方だとなじみやすいと思います。

30 代	福岡	不登校の生徒や、障害を持つ生徒に配慮した体験活動を提供してほしい。
30 代	福岡	市や県の広報誌に情報があっても、見ない世帯が多いと思う。学校を通じた、先生から児童、生徒へ口頭での呼びかけが大切だと思う。 また、それぞれ得意、興味があるそうだと思う生徒、児童に教員から直接後押しがあるときっかけになると思う。
30 代	福岡	うちの家庭のこどもの体験活動参加のほとんどが、偶然アクティビティの存在を SNS で知り申し込んだというケースが多かった。県が積極的に力を入れるなら、SNS マーケティングなどに力を入れる必要があると思う
30 代	福岡	本人の得意不得意など向いていることを小さいうちからデータとして導きだしてあげるシステムやもっと語学や異文化の知識をつける勉強や学校外でのワークを増やしてほしい。
30 代	福岡	体験活動に参加するにあたり、保護者が仕事で付き添いや送迎が難しいことがある家庭に対して、自身が通学する場所や最寄り駅までのサポートはあると保護者の仕事状況に関係なく参加のハードルが下がる場合があるのではないかと思いました。 また、体験活動の内容で(すでに自治体単位では催されている場所もあるかと思いますが)、生活力を身に付ける以下のような体験があるとよいのではと思います。 小学～中学生までに、一般的な金銭感覚や自身の状況に応じて国・県・市から行われている助成やサポート等受けているサービス(保育料～高校授業料の無償化、こども医療証、教科書無償化等々)、将来自分が生きていくにあたり、必要な知識を知る機会を設ける。 それにより、大人だけでなく子供も社会の一員であり、社会人になった時に社会人としての自覚や自分の給料から引かれている税金が社会の中で必要とされていることなどを自覚もしくは知って考える機会になるのではないかと思います。
40 代	福岡	自然に触れたくても公共交通機関がなく、自家用車がないと行けないことも多いので、その点で自治体にサポートしてもらえると助かります。
40 代	福岡	自宅では難しい経験がいろいろとできるので子供が希望した際は積極的に体験活動に参加するようにしています。学校を通じて様々な案内を知ることも多いので、行政機関が考えてくださっていることを大変ありがたいと思います。
40 代	福岡	物価高で経済苦なのでどこかへ出かけるにしてもお金がかかってしんどいです。ぜひ税金で親子で参加できる体験イベントを多く開催してください。企業が協賛すればそこには経済も生まれるはずです。
40 代	福岡	参加者が有料でもよいので、幅広い体験活動を実施して頂きたいと考えます。
40 代	福岡	親として子供に体験させたいことはいろいろあるが、子供自身が興味を持たないことには無理に参加させることになり、親子の温度差が難しいと感じる。子供自身がやってみたいと感じるような、日頃から興味を引き出す日常的な会話や、学校での教育も大切だと思う。
40 代	福岡	このような体験の場がほしいと常々思っておりました。情報検索も頻繁にしていますがなかなか見つけられないので、このようなイベントなどが増えること、また、情報をスムーズに得られることを期待します。

40 代	福岡	こどもの体験活動は、「学び」や「発達」のためだけでなく、親子や地域がつながる貴重な時間でもあると感じます。5 歳と 2 歳の息子を育てる中で、自然や人とのふれあいを通じてこどもたちが心を動かし、「できた！」という瞬間に立ち会えることが、親として何よりの喜びです。そうした体験が、こどもにとっては自己肯定感や挑戦する力の芽生えにつながり、親にとっても「見守る力」を育ててくれるように思います。 一方で、体験活動の情報が見つけづらい、申し込みが難しい、日程が限られているなど、参加までのハードルが高いと感じることもあります。特に共働き家庭や小さなきょうだいがいる家庭では、「行きたいけど行けない」ことが多いのが現状です。ですので、もっと身近で、気軽に、親子で参加できる小さな体験を増やしていただけると嬉しいです。たとえば、地域の公園や公民館で行う 30 分程度の自然観察や工作教室、地域の方が先生になる昔遊び体験など、短時間でもこどもが夢中になれるような取組です。 また、体験活動の情報発信についても工夫が必要だと思います。保育園や学校からのお便りだけでなく、LINE や SNS など、親が普段から使っているツールを通じて地域ごとのイベントが届く仕組みがあると助かります。特に、保育園に置いてある幼児向けイベントのチラシはいつもチェックしており、我が家ではほぼ 100%参加しています。親が信頼している保育園からの情報は安心感があり、「これは行ってみよう」と思えるきっかけになります。行政と保育園が連携して情報を届けることで、参加率は大きく高まると思います。 さらに、こどもの体験を「やって終わり」にせず、家庭で振り返れるような共有ツールや記録の仕組みがあると良いと思います。写真や感想を残して、次の活動につなげるサイクルができれば、こどもも「またやりたい！」と意欲を持てるでしょう。 体験活動は、こどもが成長するだけでなく、家庭・地域・大人までも育ててくれる大切な機会です。県や市町村には、こどもを“預ける”形ではなく、“一緒に育てる”形での体験活動づくりを、これからも進めていただきたいです。
40 代	福岡	福岡は他県と比べて、活動に参加しやすいと思う（転勤族のため）
40 代	福岡	小学校中学生のカリキュラムのなかに、体験活動を多く含めてほしい。
40 代	福岡	もし、いまやっているとしても、情報発信が弱い。インスタなど、公式サイトを使って若い世代も積極的に情報をとりにいけるようにするべきだと思う
40 代	福岡	・ネットで色々済む事が多くなった分、リアルでやりとりする人とのコミュニケーションが減ったので、様々な世代と触れ合う機会を設けたらいいのかなと思う。 ・以前のように夏の気候が特に変わって屋外での機会が減った分屋内向けの学びの場がこの先必要なのかなと感じます
40 代	福岡	異文化交流など海外の文化にも小さい頃から触れる機会があれば、さらに価値観が広がるのではないかなと思いました。
40 代	福岡	どの項目も大事だと思いますが、自然体験活動や生活体験活動は、地域のお年寄りとこどもたちの関係構築や人材活用をより積極的に行うと地域が活性化し、地域ごとで知り合いができ、防犯や孤独死、助け合いの精神ができるのではと思います。・公民館や団地の集会所などを開放し、DIY 工具無料貸し出しを行い、技術のあるお年寄りが教育者として使い方などを教える。また、空き地や団地の空き地などでも、野菜や果物を育てるなどいろんな活用ができるのではと思う。
40 代	福岡	地域でこどもたちの体験活動を実施している方々（こども会役員なども含む）に向けて、気軽に参加できる研修や催事を開催してもらえたら嬉しいです
40 代	福岡	親の意識の高さ、経済力によって差がつきやすい教育の一つだと考える。格差なく活動に参加できるよう工夫が必要。
40 代	福岡	コロナ禍以後祭も減ったが子供のふれあいや心の豊かさには必要だと思います。

50 代	福岡	キッザニアの福祉、医療版を開催して欲しい。核家族になった今、より、介護や医療を身近に感じられ、人の痛みがわかる人材育成に力をいれて欲しい
50 代	福岡	自然活動体験によりケガ等痛い目にあうことが伴うことまたそれは自分の責任であり体験であることを理解させる
50 代	福岡	都会のこどもたちは自然の中で過ごす時間が減ってきていると思うので、可能な限り森や海や川で過ごす時間が作れると良いと思う。
50 代	福岡	体験格差という言葉を昨今頻繁に聞く。これを解消するためには、「体験」のチャンスを得難い家庭のこどもたちへの「体験」の場の積極的提供が有効だと思う。
50 代	福岡	私のこどもは現在大学生ですが、小学生の頃地域の様々な体験イベントに参加しました。その時の体験はとても楽しく充実したものだったようです。ネット社会に生きる今のこどもにこそこのような体験をしてほしいと感じます。
50 代	福岡	告知を目にする機会を増やすと良い
50 代	福岡	気になっていたんですけど、8 月の原爆投下の日は、昔は登校日で戦争の授業がありました。最近は無いときいたのですが、言い伝えしていかなくていいのでしょうか？ 話は変わりますが、私の親は施設に入っており、近隣の保育園の子と定期的に交流があり、お互い良い刺激になっているようです。こどもにとっては、老人について学ぶいい機会になると思います。
50 代	福岡	福岡市立の小学校中学校に通っている児童生徒と比べると、国立や私立の小学校中学校への情報提供が少し手薄であると感じることがあります。市立学校以外の学校の関係者にも情報提供を進めてほしいです。
50 代	福岡	PC やスマートフォンの普及により、インドアで過ごす傾向が強まっていますので、本件の実施によって活動の機会が増えることを願っております。
50 代	福岡	子供が小さいころに、なんにでも興味関心を持ち順応性がある時期に、さまざまなジャンルの講座を受講させたかったです。1 回きりの活動だとイベント選択の段階で親の興味関心にどうしても引っ張られてしまうので、多テーマで数回シリーズのオムニバス講座があったらなあと思います。
50 代	福岡	その子の適性とかを教えてほしい
50 代	福岡	野外活動が大切
50 代	福岡	こども食堂をやっていますが、学校と家庭以外の場所をこども達が知らない！ もっと第 3 の場所や家庭や学校での悩みを聞いてもらえたり相談たりする場所が必要です。不登校などあると、学校側は、家庭に踏み込めず、病院を紹介され、酷い対応と思う。 こども達に色んな選択肢を与えてあげる場所が必要です。
50 代	福岡	あまり目的にこだわらず、「学校ではない場所で友達と一緒に、元気に楽しく過ごす」ことに重点を置いてほしいです。ケガや事故などなくて元気ならそれで満点です。
50 代	福岡	単発型ではなく、継続的な活動が求められていると思います。 単発型は実施件数が多いのですが、こどもたちの感想は、「よかった。」、「面白かった。」などの段階にとどまり、次の段階に発展していくことは多くないように思われます。 1 回あたり 3～5 時間、これを 5 回程度実施し、合計 20 時間程度の体験とすることで、会得したり考えたりすることが大きく変わり、感想文の内容なども変化がみられるようですので、継続的な体験活動の推進を希望します。
50 代	福岡	こどもによって、その両親の考え方や経済的な理由により、経験格差が生じていると思う。すべてのこどもに完全に平等にすることは難しいが、親や経済力に拠らない参加の仕方があれば良いのではと思う。

50 代	福岡	今年、森の中でこどもたちと防災キャンプをして、火おこしやテント張りを体験しました。最初はうまく火がつかず大変でしたが、みんなで協力してできたときはとても嬉しかったです。自然の中で生活する大変さと楽しさを知ることができました。これからも自然を大切にしたいと思いました。
50 代	福岡	どういう活動があるか等、学校を通じて知らせる、とか保護者の目に触れやすくして頂けると有り難い。
60 代	福岡	子供達に体験の場を作ることは非常に良いことだと思います。
60 代	福岡	治安が悪くなっている地域もあるせいか、悲惨な事件がおこるせいか、個人情報の問題もあって挨拶すらしない子供も多く見受けられます。地域のイベント等でもっとコミュニケーションがとれる社会になって行けば将来が明るいかなと思います。
60 代	福岡	自治体からの活動費用に対する助成（予算）や支援活動（クラウドファンディング等の取り組みなど）についても公表して欲しい。
60 代	福岡	今のこども達は綺麗好きでアミューズメントパークなど大人がお金をとって体験させていることが多い。 自然の中での体験やこども同士のキャンプなど大人の手伝いの手がかかることを行政がやるといいと思う。 かつては校庭で高学年はこどもだけでキャンプで一夜をすごすなどあった。明け方は寒くてあまり知らない子と背中をくっつけあって暖かかった経験などは人として大切な経験だったと思う。
60 代	福岡	大人が望ましいと思うことが固定観念ではないか、いちいち考えたほうがよいと思います
60 代	福岡	教育の一環としてボランティア活動や職業体験を組み入れた方が良いと考えます
60 代	福岡	体験活動はその後の人生においても、貴重な忘れられない経験となるものも多く、是非多くのこどもに有意義な体験学習をつめるように取り組んでほしい。
60 代	福岡	自分が子供だった頃や我が子が子供だった頃に比べて今の子たちはこのようなイベントがたくさん用意されていてうらやましく思います。 親子で参加するものが多いので親が参加できなくても参加できるようなイベントもあると良いなと思います。
60 代	福岡	今の子供達は、低学年からスマホを持っている子供達が多いように思いますし、塾や習い事の時間も結構な時間を費やしている気がしてます。 どこかの県がスマホ 2 時間と条例出してありましたが、ほんとにそうだと感じました。 体験活動がより良く楽しい事だと感じでほしいので、時には、突拍子もないような体験もいいのでは。 同年代の方の参加も有りだと思います。
60 代	福岡	私自身の子供たちはすでに成人し独立しており、孫たちも遠方に住んでいるため、彼らの実情については詳しく把握していません。しかし、地域社会の現状に目を向けると、子供を持つ親世代が地域社会との関わりを可能な限り避ける傾向が顕著だと感じています。具体的には、地域の自治会から脱退したり、当初から加入しなかったりといったケースが見られます。このような状況を鑑みるに、子供たちの体験活動を充実させることと並行して、その活動が持つ意義について、親世代への理解促進を図ることも重要であると考えます。

60 代	福岡	地域の活動のひとつ、廃品回収について。 以前は、こどもたちが中心で、親が車を出してサポートしていたが、最近は親も子供も作業に協力せず、回収業者がパッカーで回収していく現状のようだ。 時間的負担や、安全面とか考慮の上ではないかと思われるが、これは違うと思う。 連帯感もなければ、何もうまれない。 さみしい世の中になったものだと思う。
60 代	福岡	お年寄りと触れ合うことで、人格の形成や、スマホ以外の楽しみ方を学んで欲しい
60 代	福岡	食糧の大切さを感じて欲しいので、農業体験を積極的に実施してもらいたい。
60 代	福岡	趣旨を伝え、こどもが自ら考え、参加するような活動。
60 代	福岡	どの活動も子供時代にはとても大切な経験・体験になると思います。さらにこれからのグローバル人材育成を目指すために、海外との交流体験になるような活動を自治体が企画してくれると、さらに嬉しいと思います。 例えば、海外へのホームステイや短期留学等の相互交流を体験できれば視野が広がるのではないかと思います。
60 代	福岡	アウトドアで楽しみながら炊事、掃除、ものづくり、色んなものに挑戦して刃物や火、危ないことも敢えて体験して危険なこともあることを学ぶ事が大切だと思います
60 代	福岡	地元企業や教育に関心のある学生、元教師などと連携してダイナミックな活動ができるといいと思う。その時は施設の子供達を優先的に参加させてほしい。
70 代以上	福岡	先日近くのスーパーに買い物に行きました。小学生のお子さんが30人ほど、店のキャラクターぬいぐるみを着た人と、店の店員さんに案内されて食料品売り場を歩いていました。時々止まって商品説明などが行われていました。みんな興味深そうにノートをとって質問をしていました。いい教育だなと思いました。
70 代以上	福岡	こどもは体験の中から実に多くのことを学びます。それぞれの家庭で、こどもの興味・関心に合った体験を、家族みんなでしていくのが理想ですが、精神的・経済的に余裕のない家庭もあるので、行政の方で多くの機会を設定してもらえればと思っています。 ただ、いくら機会を設定しても、こども達(特に恵まれない家庭のこども達)が参加しやすいようにしなければ意味がないのでその点も考えていただければと思います。
70 代以上	福岡	孫が小学校卒業まで、福岡市の科学文化会館、マリーンワールド（当時色々な体験ができました）、アクロスの子供用コンサートなど、情報を集めては参加させました。県としてもっともっと施設への支援をしていただければ、県民として嬉しいです。
70 代以上	福岡	居住地域の中学校では積極的に地域のボランティア活動などに参加を促しています。 これに応える子供も多いことはいいことです。
70 代以上	福岡	町内にある子供会活動に金銭的援助をします。
70 代以上	福岡	地域に根差した指導者の育成に向けた取り組みの必要性
70 代以上	福岡	こどもを守るため、こども自身が自分を大切にするための身近な取り組み。
70 代以上	福岡	地元の自然環境に触れることで，環境保全に対して自分に何ができるかを家族で話し合う機会にしてほしい。
70 代以上	福岡	家庭によって参加し難い子供への提案
20 代	筑後	地域での子供の体験活動は親の人間関係が特に影響されやすいと思っています。私が子供の頃も親が来られないから行けないや地域全員が対象と言ってもこども会などに属してないと参加を拒まれたりするなどの理由で孤独感を感じたのを覚えています。やはりどのような家庭な子であっても参加させられるようなルールが必要だと思います。

30 代	筑後	私が住む地域では、文化体験ができる機会がかなり少ないです。小さいこどもを連れて都市部で開催されるコンサートや美術館に行くのはハードルが高く感じます。特にコンサートは、決まった時間に合わせてはるばる都市部まで行き、駐車場を探し…と考えるだけで心が折れることもあります。コンサートホールの規模にもよると思いますが、県内各地で小さい頃から本物の音楽や芸術に触れる機会が平等にあるといいなと思います。
30 代	筑後	特に地方は子供の数が減り子供同士が遊ぶ場がどんどん減っており、そこから若い人は地方から出ていくという悪循環が起こっている。 市町村は子供の体験活動などにも取り組みをしっかりすることで対策になると思う。
30 代	筑後	最近の子供はラジオ体操すらすることができないほど体力・筋力の低下が著しい。身体を鍛えることはもちろん、インターネットも普及し、マナーなどの教育、お金についての教育も海外より遅れており、小さなころから大切さを教える必要があると考える。 学校教育も先生によって差がでてしまうし、教材の準備も大変になるため、教材は政府で準備し、学校でも色々な学習ができるように課題を取り入れる必要があると考える。
30 代	筑後	記載がありますが、私は工場見学が趣味です。 ただ見ているだけでは、得るものは少ないです。 しかし、目的意識、興味を持って見学に行くと効果は大きいです。 たとえば、自分の仕事に応用できないか（安全、衛生管理など） 事前学習をしっかりして見学に行くと得られる効果は高いと思います。歴史的建造物などの見学も同じです。 事前に学習して理解してから本物を見ると感動を覚えると思います。
40 代	筑後	福岡市内とそれ以外の田舎部分ではだいぶ実施の機会に差があったりすると思っています。そういったものを訂正してもらえると参加しやすいなと思いました。
40 代	筑後	参加費が無料や安価なものをご提供いただいていて、ありがたく思っています。 異文化交流体験も取り入れていただけるとさらにこども達の視野が広がりそうです。
40 代	筑後	職場体験等。行っているところが多いが、自分のなりたい職業等に行けるといいと思う。
50 代	筑後	僕らが子供の時と事情がかなり変わってきているので何とも言えないが、昔は子供同士の公園や川や池などでの遊びの中で自然と覚えていくものがたくさんあったと思う。 今は、危険だ煩いなど声が上がるのでそういう遊びが出来ないのでしょうね
50 代	筑後	こどもが中学生の時に社会体験の一環として、レストランの厨房を体験しました。 30 歳を過ぎた今でも、このキャベツはお客様が食べやすいようにこうやってもりつけた、とか、従業員さんが空いたお皿下げやすいようにと配慮して母としてもよい体験だったなと感謝しております。 小学生には小学生の感性、中学生には中学生の感性があると思うので、数回は経験してほしいです。
60 代	筑後	こどもは好奇心の塊なので、体験活動の機会が多くある方が好ましいと思いますが、こどもの時間が他の活動にとられていることが多く機会を逃す傾向が高いです。学校などの行事活動との整合性が各地域でとられたら良いなと思います。
60 代	筑後	学校の修学旅行を単なる観光旅行では無く、もっと有意義な体験活動や科学的なイベント等に変更してみては如何でしょうか?

60 代	筑後	以前は、地域で海水浴行ったり、映画鑑賞したり実施していたが、地域との関わりが薄い家庭、また家庭によっては余裕が無かったり、経験出来る体験に格差が有るのではと推測する。 その為、学校での体験活動を増やせないかと思う。
60 代	筑後	もっと学校で体験活動の紹介をし、参加を促すようにした方が良いと思います。 また、こども達の自主性や主体性を育むために、活動の内容の一部をこども達自身にも考えさせたり、話し合わせたりしてはどうでしょうか。
60 代	筑後	安全面の問題があると思いますが、固定的なプログラムではなく柔軟な内容でこどもたちが主体的に活動できる内容であることが望ましいと考えます。指導者は、学校関係者ではなく、その機関のプロの方であったほうが、こども達をこどもとして接するのではなくて良いかと思う。
70 代以上	筑後	誰もが気軽に参加できて、ちゃんと成果のある取り組みを広めてほしいです。
20 代	筑豊	県の財源にも限りあるものであるから難しいとは思うが、県が公開講座の実施団体を公募してみてはどうか。実施団体を募集し、交付金を出す。選定にあたっては、実施内容の一通りがわかるよう提示してもらい、その審査には大学教員なども招致する。県内一円に募集をかけることで様々な地区での成立をねらい、参加者も「今週は〇〇町の講座があるから行ってみよう」などと都市間の往来を加速させることができるのではないか。 若者の行っている古民家改装や地域おこし事例をツーリズムで学ぶ、〇〇町〇〇地区の山笠を見学しよう、福岡渇水の歴史と治水事業見学、既に様々な団体が実施しているようにも思うが、県内全域での統一した取り組みに組み込むことで、市井の学びなおしや魅力の再発見につながることと思う。
30 代	筑豊	我が子にも様々な体験をさせています。自分で考え、行動する力や友達と協力する力などをつけてほしいと思います。
30 代	筑豊	親が一緒に参加しなくても良いようなものの方が、最近の多忙な保護者には人気だと思う。
30 代	筑豊	福岡はせっかくワンヘルスを掲げているのだから動物愛護ボランティアなどを通して、人間に捨てられて行き場のない動物たちがいることを子供達にも知って欲しいと思う。 家族で考えるきっかけにもなると思います。
40 代	筑豊	体験がその時だけで終わらないように、こどもが自分で選択できるように、危ないことを出来る経験
40 代	筑豊	SNS を使った告知や、参加費負担の少ない（可能なら無料）活動を積極的に行なってほしい。
40 代	筑豊	事業の評価は必要だと思う。こどもたちにどのように役立ったのか。何か習得できたのか。それを学校の授業（成果を発表し合う）や成績に組み込むとかも良いかもしれない。
40 代	筑豊	私の住む市では自然を生かした体験などは行われているが、職業体験などこどもが将来就きたい職業などの知見を広げるようなイベントがないので、キッザニアのような体験イベントが県内の市町村で広く行われると良いと思います。
50 代	筑豊	田舎でこどもを育てる良さはあるが、体験活動の種類から言えば、やはり都心部の方が充実している。こどもが何に関心を持つのか、どんな才能を持っているかを知るためにも様々な体験をさせてやりたいと思えば、親は都心部での生活を選択すると思う。金銭的余裕も必要になるが。田舎の少子化は進むけれど、仕方がないのかも。

60 代	筑豊	体験活動等取り入れる地区に格差がある。 飯塚市に住んでいるが、中心市街地は予算をかけて様々な取組があるが、旧頴田町(合併して飯塚市)はなにも取り組み方されていない。差を感じる。
60 代	筑豊	体験活動の選択肢は多いほど良いと思う。
60 代	筑豊	NPO をはじめ、非営利で様々な活動をされている団体への優遇措置。
70 代以上	筑豊	今の若い親はこどもの貴重な体験や経験を好まない人がいる。積極的に参加させない傾向があると感じます。